

連携協議会

安芸地区1市4町の近隣連携協議会の設置を
町 現在加入の広島広域都市圏の枠組みで事業実施を



末吉 克巳 議員

安芸地区1市4町で連携し、単一行政では難しい課題や広範囲な賑わい創出に取り組んでほしい。

議員 有害鳥獣の猿が隣接市町を通過し、町内に出没し被害が出ているが、ドローンを使い、生態調査や捕獲を業者委託し、共同で費用を負担してほしい。

議員 安芸地区生活圏の特徴を活かし、賑わい創出と観光地の共同運用のため、近隣連携協議会の設置は。

町長 広島修道大学と包括連携協定を締結し6年経過しているが、その実績は。



奥村 富士雄 議員

は結んでいない。これまで培ってきた連携協力を強化するため、包括連携協定の締結を。

町長 大学には各種イベントやボランティア活動で積極的に参加していただいております。感謝しています。

議員 各分野は枝葉であり、幹となる包括連携が必要では。

町長 お互いに意思疎通を図り、連携協定について見出していければと考える。

町長 現在本町が加入している広島広域都市圏には、広島市並びに安芸郡4町も加入しており、連携して各種施策を実施しており、平素から連絡会議を開催するなど、緊密な連携を図っている。



ショッピングセンターでの安芸地区交流まつり

議員 広島文化学園大学のキャンパスがある呉市や安佐南区は包括や連携協定を結んでいるが、本町

町長 締結後は、学生が本町の長期総合計画策定、情報発信、広報、空家などに関する業務を体験し、本町からは自治体行政実務講義を大学で行うなど、毎年相互に連携し事業に取り組んでいる。



月イチようよう坂町ウォーキングなど大学との連携

大学との連携

広島文化学園大学との包括連携協定締結を
町 包括連携よりそれぞれの分野での連携を深める

今後包括連携よりもそれぞれの分野で連携を深めながら取り組んでいくことが望ましい。

町道整備

広島呉道路4車線化に係る町道植田6号線整備は
町 まちづくりを一体的に考え総合的に判断する



中川 ゆかり 議員

地域住民は、植田本線を階段にせず、幅員を広げ車両道にと要望。

議員 地域住民への説明は。

産業建設課長 計画が固まった時点で、説明会を行うよう西日本高速道路株式会社に働きかける。

で、財源の捻出や町づくりを将来どうつくっていくか一体的に考える必要がある。この植田地区の案件も、道路をつくったら地域の方がどのような町づくりを考えておられるのか、総合的に判断したい。

議員 町内にはこのような町道が多く、試験的に車両道に整備してほしい。

町長

西日本高速道路株式会社は、階段にする計画で提出しているが、復旧前に近い幅員や道路勾配で管理したいと考えている。

車両通行には、幅員2.5m程度が必要である。一部の区間で、高低差が大きく用地の確保も難しい箇所がある。都市防災総合計画や通学路緊急対策推進事業などを優先し取り組む。

町長 町内の道路は狭隘な箇所が多くある。これらを全体に整備していくためには、確固たる財源も必要になる。



近隣住民の願いは車両道に！

生活道路拡幅

横浜東二丁目の町道拡幅整備を
町 早期完成・供用を先決と考え事業を進める



折中 智 議員

町道横浜三部2・6号線の拡幅要望が出ているが対応状況は。

町長 町道横浜三部2号線・6号線の拡幅について（集合住宅付近）は今年度中、それ以外の場所は令和8年度までに完成できると努める。

議員 現在、町道横浜三部6号線から国道に入りする箇所が民間企業による建設工事が行われているが、車両が出入りしやすくする方法はないか。

町長

国道31号から町道横浜三部6号線への進入について、国交省等と協議しているが、国道側からの右左折共に危険なため、今年度の拡幅後は横浜小学校側から利用していただきたい。

また民間企業建設用地付近は、外構工事に合わせ拡幅工事を行う予定である。

議員 町道横浜三部4・5号線の拡幅・舗装補修は。



拡幅が待たれる町道

町長

町道浜田中洲線から町道横浜三部5号線の入口部の地権者から承諾が得られたため、今後用地取得予定であり、残る沿線の土地所有者とも用地交渉を進める。

産業建設課長

舗装の状態悪化や側溝の劣化による段差、溝蓋の水はけ穴の劣化などについて、5号線の拡幅にあわせて対応する。